

- lymphoma. 第44回日本臨床血液学会総会. 2002, 9, 14. 臨床血液 (43): 362.
- 2 井 宣隆, 草場耕二, 永沢善三, 植田 寛: パイオクリーン手術室における清浄度検査. 第51回日本医学検査学会. 2002, 5, 15. 医学検査 51: 349.
 - 3 °Kitagawa N, Oda M, Totoki T, I N, Morimoto M.: Correlation between hemolytic potency and neurotoxicity of local anesthetics. 2002 American Society of Anesthesiologists Annual Meeting. 2002, 10, 15. 2002 Annual Meeting Program: 264.
 - 4 Kume S.: Saga monthly case surveys using personal computers. Global Standardization and Advanced Quality Management '01: 174-178, 2002.
 - 5 永沢善三, 永山在明, 馬目 功: Teicoplanin を用いた化学発光法による迅速薬剤感受性試験での hetero vancomycin-resistant *Staphylococcus aureus* の検出. 2002, 6, 15. 第15回臨床微生物迅速診断研究会総会プログラム講演抄録集 15: 54.
 - 6 永沢善三, 高柳 恵, 永沼智子, 草場耕二, 中島幹夫: 九州における *Vibrio vulnificus* 感染症の発生動向について. 第15回臨床微生物迅速診断研究会総会. 2002, 6, 15. 第15回臨床微生物迅速診断研究会総会プログラム講演抄録集 15: 36 (シンポジウム).
 - 7 田島 裕: タングステン化合物の持つ生化学的及び生理学的效果. 第52回錯体化学討論会シンポジウム. 2002, 10, 2. (シンポジウム).
 - 8 Tajima Y: Sensitizing effects of polyoxotungstates on MRSA strains. The 10th International Symposium on Staphylococci and Staphylococcal Infections 2002, 10, 17.
 - 9 田島 裕: 抗DNA抗体のDNA結合活性に対するタングストリン酸の阻害効果について. 第49回日本臨床検査医学会総会. 2002, 11, 23.
 - 10 Tajima Y.: Solving the mystery of anti-DNA antibody: Evidence suggesting that the binding of anti-DNA antibody to the target molecule is principally maintained by a charge interaction. The 7th Asian Congress of Clinical Pathology. 2002, 12, 7.
 - 11 °山口加奈子, 久保田寧, 中里幸恵, 冨栴りか, 福島伯泰, 常吉直子, 船井典子, 末岡栄三朗, 菅 謙司, 松崎美和子, 佐野雅之: 虚血性心疾患を伴った後天性第8因子インヒビターの2例. 第44回日本臨床血液学会総会. 2002, 9, 14. 臨床血液 (43): 455.
 - 12 °八田美幸, 福島伯泰, 久保田寧, 船井典子, 菅 謙司, 末岡栄三朗, 松崎美和子, 佐野雅之, 大島孝一: 種痘様水疱症を背景に発症した成人NK/T細胞性リンパ腫. 第44回日本臨床血液学会総会. 2002, 9, 14. 臨床血液 (43): 433.

救急医学講座 (救急部を含む)

著 書

- 1 平原健司, 西村謙一: 救急患者診療の基本. 瀧 健治, 西村謙一, 十時忠秀編著: 救急医学 救急患者の初期対応と以後の治療方針. 7-13. 新興医学出版社. 東京 2002.
- 2 加藤博之, 大串和久: 救急患者の症候学と初期対応. 瀧 健治, 西村謙一, 十時忠秀編著: 救急医学 救急患者の初期対応と以後の治療方針. 67-70. 新興医学出版社. 東京 2002.
- 3 加藤博之, 瀧 健治 (白浜雅司, 前田賢司, 宗田 聡 編): 救急に際して.: 治療 3月増刊号.

- 第84版 420-423. 南山堂. 東京都 2002.
- 4 加藤博之, 瀧 健治: 診療中に患者がショック状態に陥った場合の対応について教えてください。(白浜雅司, 前田賢司, 宗田 聡 編): 治療 2002 3月増刊号 特集 こんなとき先生ならどう対応しますか. 第84版 420-423. 南山堂. 東京都 2002.
 - 5 佐藤 武, 加藤博之: こころの110番—外来における対応のポイント—. 瀧 健治 監修: 永井書店 大阪 2002.
 - 6 瀧 健治: 急性脱水症. (山口 徹, 北原光夫 編): 今日の治療指針 2002. 18-19. 医学書院. 東京都 2002.
 - 7 瀧 健治: 第4章 脳死と臓器移植. (瀧健治, 西村謙一, 十時忠秀 編): 救急医学. 初版 199-205. 新興医学出版社. 東京 2002.
 - 8 瀧 健治: 第5章 災害時の救急体制と救急医療 (瀧健治, 西村謙一, 十時忠秀 編): 救急医学. 初版 206-221. 新興医学出版社. 東京 2002.
 - 9 瀧 健治: 救急疾患: 窒息. (亀山正邦, 高久史磨 編): 今日の治療指針. 第5版 530-531. 医学書院. 東京 2002.
 - 10 瀧 健治: 第4章 外傷救急医学M. 妊婦・小児の外傷. (桂田菊嗣 編): 救急救命士標準テキスト 第6版 728-732. へるす出版. 東京 2002.
 - 11 瀧 健治, 他: 第1章 救急医学概論. (瀧 健治, 西村謙一, 十時忠秀 編) 初版: 救急医学. 1-66. 新興医学出版社. 東京 2002.

2001年著者追加

- 1 郡山一明, 遠藤容子, 岩野 歩, 岩村高志, 広橋伸之: 九州地区における有機リン剤による遅発性神経障害の実態調査. (瀧 健治 編): 第4回日本救急医学会九州地方会プロジェクト報告書. 佐賀 2001.

学術論文

- 1 加藤博之: 救急初療医へのアドバイス①. トリアージ・急病. 高血圧; 高血圧性脳症を疑われた症例. 救急医学 26: 420-421, 2002.
- 2 加藤博之: 救急初療医へのアドバイス①. トリアージ・急病. 腰痛; 腰椎椎間板ヘルニアの症例. 救急医学 26: 464-465, 2002.
- 3 加藤博之: 救急初療医へのアドバイス①. トリアージ・急病. 高血糖; 糖尿病性ケトアシドーシスの症例. 救急医学 26: 470-471, 2002.
- 4 加藤博之: 炭酸脱水酵素が関与する病態—ARDSを中心に—. ICUとCCU 26: 791-796, 2002.
- 5 加藤博之: 乳幼児のタバコ誤食—必ずタバコの残骸を持参させよう. Medical Practice 19(8): 1383, 2002.
- 6 加藤博之, 瀧 健治: 診療中に患者がショック状態に陥った場合の対応について教えてください. 治療 84(臨時増刊): 420-423, 2002.
- 7 加藤博之, 瀧 健治: 魚のトゲに刺されたら. プレホスピタル・ケア 15: 32-33, 2002.
- 8 加藤博之, 瀧 健治, 井之口 昭: “耳に虫が入った”時の初期対応と注意点. JIM 12(8): 768-769, 2002.
- 9 森本正敏, 瀧 健治: 呼吸中枢における炭酸脱水酵素の組織化学. ICUとCCU 26(9): 797-802, 2002.

- 10 中島正一, 井福武志, 高松 純, 為広一仁, 嶋 弘志, 井手道雄, 伊藤榮近, 瀧 健治: 脳血管障害に対する新評価法の試みについて. 日本高気圧環境医学会九州地方会誌 2:23-28, 2002 原著.
- 11 佐藤 武, 加藤博之, 瀧 健治: 精神科救急 CASE CONFERENCE 第30回 慢性疼痛患者への精神療法的アプローチ. 総合臨床 51(2):439-441, 2002.
- 12 佐藤 武, 加藤博之, 瀧 健治: 精神科救急 CASE CONFERENCE 第31回 意識障害を繰り返す転換性障害—家族内の葛藤—. 総合臨床 51(3):635-637, 2002.
- 13 瀧 健治: ショック. レジデントノート 4(2):45-57, 2002.
- 14 瀧 健治: 特集: 集中治療における炭酸ガス制御の必要性とは—特集にあたって—. ICUとCCU 26(9):751-752, 2002.
- 15 瀧 健治: 炭酸ガス制御を担う炭酸脱水酵素. ICUとCCU 26(9):767-774, 2002.
- 16 瀧 健治: 12誘導心電図の記録. 救急医学 26(10):1202-1206, 2002.

2001年学術論文追加

- 1 中島正一, 井福武志, 高松 純, 為広一仁, 嶋 弘志, 井手道雄, 伊藤榮近, 瀧 健治: 救急適応疾患に対する高気圧酸素治療【HBOT】の開始時期の検討: 九州救急医学雑誌 1(創刊号), 1-3, 2001.

学会発表

- 1 平原健司, 岩村高志, 杉原 充, 藤田尚宏: 当院で経験した *Vibrio vulnificus* による壊死性筋膜炎の検討. 第30回日本救急医学会総会. 2002, 10, 9. 日本救急医学会雑誌 13:532.
- 2 平原健司, 杉原 充, 平田祐造, 藤田尚宏: この11年間に当院で経験した *Vibrio vulnificus* による壊死性筋膜炎症例. 第6回日本救急医学会九州地方会. 2002, 5, 11. 日本救急医学会雑誌 13:450.
- 3 *藤田尚宏, 杉原 充, 平原健司: 敗血症性ショックに対する急性血液浄化療法の有効性の再検討—特に血圧上昇効果の機序について—. 第30回日本救急医学会総会. 2002, 10, 9. 日本救急医学会雑誌 13:620.
- 4 *藤田尚宏, 杉原 充, 平田祐造, 平原健司: 佐賀中部医療圏におけるメディカル・コントロール体制の現状と問題点. 第6回日本救急医学会九州地方会. 2002, 5, 11. 日本救急医学会雑誌 13:450.
- 5 伊藤榮近, 瀧 健治, 中島憲一郎: 血中濃度を測定し得た覚醒剤中毒の2症例. 第24回日本中毒学会総会. 2002, 7, 13 (口演).
- 6 加藤博之: 救急医療. 日本集中治療医学会第29回大会. 2002, 2, 28. 日本集中治療医学会雑誌 9 Supple.:100 (ワークショップ).
- 7 加藤博之: 米国における小児心肺蘇生トレーニングの経験. 第16回日本小児救急医学会. 2002, 6, 21. 日本小児救急医学会雑誌 1:71.
- 8 加藤博之: 卒前教育について; 卒前教育の工夫 (CSS) について. 第11回麻酔科・救急医療研究学会. 2002, 11, 30 (シンポジウム).
- 9 加藤博之, 岩村高志, 伊藤榮近, 川淵久司, 戸塚和敏, 大串和久, 瀧 健治: 研修医の立場から見た救急医学卒後教育の意義と今後の課題—佐賀医科大学救急部ローテーターへのアンケート調査より—. 第30回日本救急医学会総会. 2002, 10, 9. 日本救急医学会雑誌 13:552.

- 10 加藤博之, 岩村高志, 伊藤栄近, 川淵久司, 戸塚和敏, 大串和久, 瀧 健治: 救急外来での医療業務支援用システム開発の試み. 第30回日本救急医学会総会. 2002, 10, 10. 日本救急医学会雑誌 13: 590.
- 11 加藤博之, 岩村高志, 伊藤栄近, 戸塚和敏, 大串和久, 瀧 健治: 病棟実習における身体診察学教育の問題点—救急外来選択コースでのアンケート調査より—. 第5回日本臨床救急医学会総会. 2002, 4, 26. 日本臨床救急医学会雑誌 5: 205.
- 12 加藤博之, 岩村高志, 伊藤栄近, 戸塚和敏, 大串和久, 瀧 健治: ロールプレイングを用いた救急医学卒前教育の試み. 第34回日本医学教育学会大会. 2002, 7, 26. 第34回日本医学教育学会大会予稿集: 67.
- 13 Kato H, Noble JM, Kurdowska A: Mechanism of action of complexes between interleukin-8 (IL-8) and anti-IL-8 autoantibody. American Thoracic Society 2002 98th International Conference. 2002, 5, 21. Am J Resp Crit Care Med 165: A547.
- 14 加藤博之, 大串和久, 瀧 健治: 重症高齢者救急における治療方針の決定因子の検討—年齢に対する家族の意識調査より—. 第44回日本老年医学会総会. 2002, 6, 12. 日本老年医学会雑誌 39: 81.
- 15 加藤博之, 瀧 健治: 臨床検査技師に対する心肺蘇生法教育の試み. 第25回日本プライマリ・ケア学会総会. 2002, 6, 2. プライマリ・ケア 25臨時増刊: 263.
- 16 加藤博之, 瀧 健治, 小泉俊三, 重田イサ子: 電子カルテ化時代における POS カルテの意義の再認識—医学生に対する診断の思考過程教育の観点から—. 第34回日本医学教育学会大会. 2002, 7, 26. 第34回日本医学教育学会大会予稿集: 82.
- 17 加藤博之, 戸塚和敏, 大串和久, 瀧 健治: トリアージタグから見た災害訓練の経年的効果の検討. 第7回日本集団災害医学会総会. 2002, 2, 27. 日本集団災害医学会誌 6: 278.
- 18 瀧 健治: これからの救急医学教育・救急研修. 第11回麻酔科・救急医療研究学会. 2002, 11, 30(シンポジウム).
- 19 Taki K, Kato H, Ngasashima F, Oogushi K, Tozuka K, Ushiyama O, Gai X: A65 359. 3 Anticarbonic anhydrase isozyme antibody in collagen disease could show the pathological condition. 第2回 Experimental Biology 2002 2002, 4, 22 FASEB Journal 16(4): A396 (示説).
- 20 Taki K, Nakashima S, Taki M, Takamatsu J: Changes in CO-Hb by the hyperbaric oxygen therapy. XIV INTERNATIONAL CONGRESS ON HYPERBARIC MEDICINE 2002, 10, 2.